

富士河口湖町立 教育センターだより

No.11



平成29年9月8日文責 遠山 榮子

はや9月



今、10代の活躍が光っている。10代に近づく子や10代真っ只中の子ども達が集う学校では、運動会、学園祭と大きな行事が予定されている。子ども達は、行事を通して、仲間と一緒に創り上げる楽しさ、難しさ、苦しさ、だけど、そこでしか味わうことのできない感動と充実感を得、それを心の糧に、大きく成長していく。友情と信頼を深め、希望と勇気をもって、また前に進む。新学習指導要領の実施、2020年の東京オリンピックも目前だ。夢ある未来に向かってともに歩み、成長を応援したい。

さて、教育センターは、実り多き2学期となるように、町や学校、各種機関と手を携えて、「よりよい学習環境作りの一助」に努力していきます。よろしくお願いします。

ハインリッヒの法則



町給食調理従事者対象研修会

去る8月22日(火)、山日新聞で、0157の感染が報道されました。くしくも、この日の午後、県スポーツ健康課主幹・指導主事の高尾順子先生を講師に、町教育委員会主催で、「学校給食における衛生管理」について研修会を開催しました。年1回の研修会も4回目を重ね、今回は38名が参加しました。「手洗いが最も根本的で効果的

な食中毒予防策」ということで、「手洗いチェック」から研修を行いました。(写真)

昨年度、教育長から、1つの重大な事故の後ろには、29の小さな事故があり、29

の小さな事故の後ろには、300のヒヤリとする事象があるという「ハインリッヒの法則」(左上図)と「発生の防止こそ最大の対応である」という話がありました。

参加者は、給食の安心・安全にもあてはまる法則であり、300のヒヤリという事象0を目指し、研修を深め、給食開始に備えました。

おいしく、安全な給食は、専門職としての自覚をもち、次の3つの*

で作られる一つの作品でもあることを確認しました。

- *自分の健康管理をしっかりと！
- *決められたことは守ろう！
- *職場の人間関係を大切に！

わたしたちが
作っています



学校の給食をいただく児童生徒・教職員は、給食に、調理に携わる多くの人々の、日々の目に見えないところでの努力が込められていることを再認識し、感謝をもって残さずに味わいたいものです。



0157に感染
5歳女児が重体
埼玉・総菜店のサラダで